


単一レコード表示


TNTmips では2つの異なる方法でデータベーステーブルを表示することができます。「単一レコード表示」と「表形式の表示」です。表形式の表示は、複数のレコードや図形要素を操作するためにあります。表形式の表示では...


- 選択したレコードに関連付けられた要素を選択（マーク）することができます。
- アクティブな要素にアタッチされたレコードのみの表示、選択された複数の要素にアタッチされたレコードの表示、全てのレコードの表示が可能です。
- [レコードの選択] チェックボックスやカラムの見出しの上、各セルの上でマウスの右ボタンをクリックすると、場所に応じたメニューが現れます。また、どの要素が選択されているかが示されます。
- 1つまたは複数フィールドの並べ替えや、フィールドの順番の変更、統計やサブ統計行の追加をすることができます。

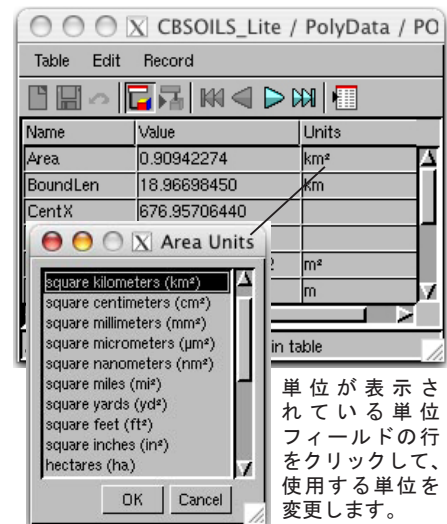
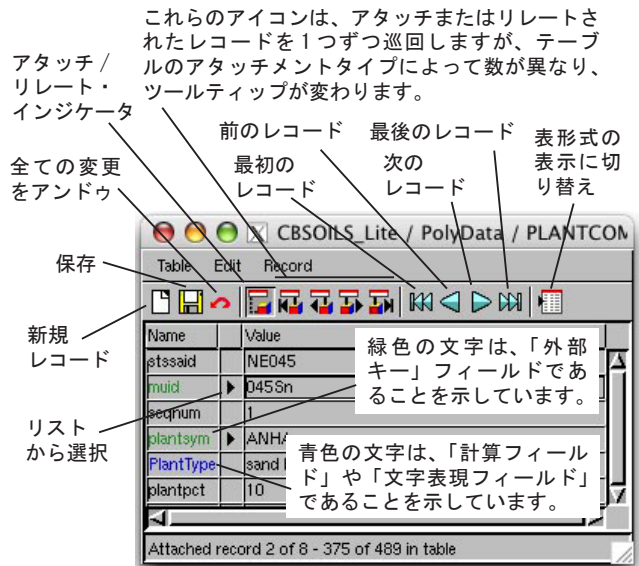
単一レコードの表示ではないような、これらの表形式の表示機能については、チュートリアルや他のテクニカルガイドで解説しています。

単一レコード表示は、選択した1つの図形要素の操作のためにあり、「ピックリスト」にアクセスすることができます。詳しくはテクニカルガイドの“システム：値一覧を使って属性を選択する (System: Choose Attributes Using a Pick List)”をご覧ください。1つの図形要素に複数のレコードがアタッチされている場合、単一レコード表示の中のアイコンを使って各レコードを順に見たり、アイコンを使ってテーブル中の任意のレコードを表示することができます。単一レコード表示では、フィールドに単位が割り付けられている場合は単位を直接表示することができ、目的に応じてフィールド毎に単位を変更することが可能です。単位が表示されているフィールドの上でクリックすると、適切なタイプの単位メニューが開きます（面積、長さ、角速度など）。新しい単位を反映して、関連するフィールドの中の数値も変わります（例えば 18966.98450450 m は 18.96698450 km になります）。単位のフィールド上のデータタイプには、短縮した形で単位が表示されます（データタイプの km² は平方キロメートルを表します）。

 **新規レコード** [新規レコード (New Record)] アイコンをクリックすると、アクティブな図形要素にアタッチされた空白のレコードがテーブルの一番下に追加されます。アクティブ要素にレコードをアタッチしたくない場合は、[アクティブ要素にアタッチ (Attached to active element)] トグルボタンのチェックを外すか、新規レコードを追加する際に要素を選択しないようにします。

 **保存** [テーブル] メニューに [保存する前に確認する (Ask Before Saving)] トグルがあり、レコードを切り替える時やテーブルを閉じる時に変更を自動的に保存するか、または保存するかどうかを確認するウィンドウを表示するかを決めることができます。[保存 (Save)] ボタンを使う必要があるのは、他のレコードに移動せずに現在のレコードの変更を更新する時で、変更が値や他のテーブルに対するアタッチメントにどう影響を及ぼすかを見ることができます。また、保存することでテーブルの下部に表示された情報が更新されます（○○がアタッチされました、レコード○○、テーブルの中の○○）。

 **レコードの変更のアンドウ (キャンセル)** このボタンは、現在表示中のレコードを変更した場合のみアクティブになります。このボタンをクリックすると、そのレコードに対して行った変更全てがキャンセルされます。





● アタッチメントタイプが [暗示的 1:1 (implied one-to-one)] や [1:1 (one-to-one)]、[各要素には 1 レコード (One record per element)] のテーブルは、[最初のレコード] アイコンのすぐ左側のツールバーにアイコンが 2 つだけ表示されます。



[アクティブ要素にアタッチ] アイコンは、表示しているレコードがアクティブ要素にアタッチされているか (ボタンが押されている) アタッチされていないか (ボタンが押されていない) を示すトグルボタンです。最初に図形要素が選択されている場合、単一レコード表示のデフォルト動作がアクティブな要素にアタッチされた最初のレコードを表示するため、このボタンが押されています。要素がアタッチされたレコードを持っていない場合、この段落の最初の図のようにボタンは押されません (次の 2 段落目や 3 段落目の図のような押されたボタンにはなりません)。レコードを移動する青いボタン ([次のレコード] ボタンや [前のレコード] ボタンなど) を使った場合は、上に示したアタッチメントタイプではボタンは押されません。アタッチメントタイプが「1:1」や「各要素には 1 レコード」のテーブルを表示している時に [アクティブ要素にアタッチ] アイコンが押されていない場合、このアイコンをクリックして、現在表示しているレコードをアクティブな要素にアタッチすることができます。これら 2 つのアタッチメントタイプの場合、現在アタッチされているレコードは最初にアタッチが解除されます。解除がユーザの意図ではないかもしれませんので、実行する場合は右図のような警告のメッセージが表示され、ユーザに注意を喚起します。アイコンが押されている場合、クリックしてこれらの 2 種類のアタッチメントタイプに対するアクティブ要素から現在のレコードのアタッチを解除することができます。アタッチメントタイプが [暗示的 1:1] のテーブルに対しては、このアイコンを使って、異なるレコードをアタッチしたり、要素からレコードをはずすことができません。このようなレコードの属性値を変更することはできませんが、アタッチしたりアタッチを解除することはできません。



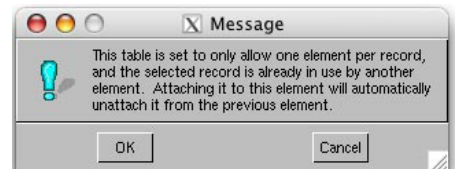
[アタッチされたものに移動 (Go to Attached)] アイコンを使うと、リストされたアタッチメントタイプのテーブルにおいて、アクティブ要素にアタッチされた 1 つのレコードに戻ることができます。[アクティブ要素にアタッチ] アイコンが押されている場合、アタッチされたレコードをすでに見ているため、[アタッチされたものに移動] アイコンはかすれて押せません。



● アタッチメントタイプが [各レコードには 1 要素 (One element per record)] や [制限なし (No restriction)]、[リレートのみ (Related only)] である場合、単一レコード表示のツールバーの青いレコード移動ボタンの左側には 5 つのアイコンが表示されます。



[アクティブ要素にアタッチ] アイコンの機能については上で説明しました。[リレートのみ] のテーブルに対しては左図のように点線のアイコンが表示されます。テーブルのアタッチメントタイプが [リレートのみ] の場合、ツールチップの中の「アタッチ (Attached)」という言葉は「リレート (Related)」に置き換えられます。アクティブな要素がただ 1 つのレコードにリレートしている場合、他の 4 つのアイコンはかすれます。アタッチメントタイプが [制限なし] のテーブルのレコードを単一レコード表示で表示する場合、そのレコードが他の要素にアタッチされているかや、他のレコードがアクティブ要素にアタッチされているかに関わらず、[アクティブ要素にアタッチ] アイコンを使ってレコードをアタッチさせたりはずしたりすることができます。アタッチメントタイプが [各レコードには 1 要素] のテーブルのレコードが 1 つの要素にアタッチされた状態で表示されている場合、このアイコンを使ってアタッチを解除することができます。しかし、すでに他の要素にアタッチされているレコードをアクティブ要素にアタッチしようとする、右図のように「アクティブ要素にアタッチする前に、他の要素からアタッチをはずす必要があります」という警告メッセージが表示されます。[リレートのみ] のテーブル中のレコードは、それらの関連付けが主キーまたは外部キーの関係によって作られているため、アタッチしたりはずしたりすることはできません。キーフィールドの値を変更すると、要素に関連付けられるレコードも変わります。



[最初のアタッチ (First Attached)] アイコンを押すと、他のレコードを見ている時でもアクティブな図形要素に対して最初にアタッチまたはリレートされたレコードに移動することができます。



[前のアタッチ (Previous Attached)] アイコンを押すと、アクティブ要素にアタッチされたレコードを順に移動することができます。このアイコンは、最初にアタッチまたはリレートしたレコードから移動していない場合はかすれて表示されます。



[次のアタッチ (Next Attached)] アイコンを押すと、複数のリレートレコードがある場合は次のアタッチまたはリレートされたレコードに移動することができます。



[最後のアタッチ (Last Attached)] アイコンを押すと、現在アクティブな要素にアタッチまたはリレートされたレコード群の最後に移動することができます。



● これらのアイコンは、リレートまたはアタッチされたレコードのみを順に見るといよりは、表示中のテーブルの最初や前、次、最後のレコードに移動するために使います。特定のレコード番号に移動したい時は、単一レコード表示の中の [レコード] メニューの [レコードに移動 (Go to Record)] を選択します。